

平成25年度 ルール改正点・修正点について

1 6人制改正点・修正点

【改正点】

(1) チーム構成について

試合のために1チームは12人までの選手と、さらに次のスタッフで構成することができる。

※コーチングスタッフ：1人の監督，最大2人のアシスタントコーチ

※医療スタッフ：1人のチームセラピストと1人の医師（規則4.1.1）

なお，チームセラピストについては，FIVB世界・公式大会のみに適用し，チームの構成は各大会で決めることができる。（付則の6）

(2) スターティングラインアップについて

記録用紙の選手リストに登録されていない選手がコート上にいることが発見された場合は，相手チームの得点はそのまま有効で，さらに1点と次のサービスが与えられる。間違いのあったチームは，登録されていない選手がコートに入った時点から得たすべての得点とセット（必要であれば0-25として）を失い，修正したラインアップシートを提出し，登録されていない選手がいたポジションに，登録されている選手を新たにコート上に送らなければならない。

（規則7.3.5.4）

(3) ヒットの特性について

サービスのレシーブでは，指を使ったオーバーハンドの動作でダブルコンタクトやキャッチをした場合は反則となる。（規則9.2.4）

(4) スクリーンについて

サービングチームの選手は，1人または集団でスクリーンを形成し，サーバーおよびサービスボールのコースが相手チームに見えないように妨害してはならない。（規則12.5.1）

(5) 遅延行為に対する罰則について

チームメンバーによる試合での最初の遅延行為に対しては“ディレイワーニング”の罰則が適用される。（規則16.2.2）

同じチームによる2回目以降の遅延行為は，どのチームメンバーが引き起こしても，どのような種類のものであっても，ペナルティとなり“ディレイペナルティ”の罰則が適用される。そのチームは1点を失い，相手チームのサービスとなる。（規則16.2.3）

《（第9図）遅延行為に対する罰則段階表》参照

(6) リベロの関わる動作について

不法なリベロリプレイメントは，不法な選手交代と同様とみなされる。

不法なリベロリプレイメントが次のラリー開始前に発見された場合は，審判員により訂正され，チームには遅延行為に対する罰則が適用される。

不法なリベロリプレイメントがサービスヒットの後に発見された場合は，不法な選手交代と同じ処置がされる。（規則19.3.2.9）

(7) リベロの退場または失格について

リベロが退場または失格となった場合は，直ちにセカンドリベロと入れ替わることができる。もしもチームに1人のリベロしかいない場合は，再指名することができる。（規則19.5.1）

(8) 軽度の不法な行為について

軽度の不法な行為は、罰則の対象にはならない。主審には、チームが罰則のレベルに達しないように防ぐ義務がある。

これは2段階で処置される。

ステージ1：ゲームキャプテンを通じて口頭での警告をする。

ステージ2：該当する選手にイエローカードを使用して警告をする。この警告はそれ自体が制裁ではないが、その試合においてそのチームメンバーが（さらにチームが）次からは罰則になることを示している。これは記録用紙に記録されるが、直ちに罰則を受けることはない。（規則21.1）

(9) 不法な行為等と使用するカードの一覧について

警告：罰則ではない — ステージ1：口頭での警告

ステージ2：イエローカードでの警告

ペナルティ：罰則 — レッドカード

退場：罰則 — イエローカードとレッドカード（一緒に示す）

失格：罰則 — イエローカードとレッドカード（別々に示す）

（規則21.6）

《（第9図）不法な行為に対する罰則段階表》参照

(10) FIVB 世界・公式大会では、規則24.2.5, 24.2.10 に記載されている任務はリザーブフェリーによって行われる。（規則24.2）

(11) 電子記録用紙を使用するFIVB 世界・公式大会では、アシスタントスコアラーは記録員とともに選手交代の通知およびリペロリプレイメントの確認を行う。（規則26.2）

(12) 小学生バレーボール・フリーポジション制競技規則について

1) 試合の進行について

第1セットおよび第2セットでは、リードするチームが11点目に達したとき、第3セットでは、リードするチームが8点目に達したときは、30秒間のテクニカルタイムアウトが自動的に適用される。（第4条6）

選手の健康と安全に配慮して、特に5月から10月までの間に開催する大会では、テクニカルタイムアウトは、給水のためのタイムアウトとして適用し、選手に給水をさせなければならない。（小学生一付則の1）

2) 各チームは、1セットにつき12回までの選手交代が認められる。（第6条）

【修正点】

規則をより読み易くするため、単語訳や表記を見直し、字句を修正した。

【ルールが明文化された事項】

(1) 例外的な選手交代は、どんな場合でも正規の選手交代の回数には数えないが、記録用紙のセットや試合の選手交代の合計欄に記録される。（規則15.7）

(2) 選手交代の要求とは、中断の間に、プレーする準備のできた交代選手が選手交代ゾーンに入ることをいう。負傷による場合やセット開始前での選手交代を除いて、監督は選手交代のハンドシグナルを示す必要はない。（規則15.10.3a）

(3) もしも、そのうち1組が不法である場合には、正規の選手交代は許可されるが、不法な選手交代は拒否され遅延行為に対する罰則が適用される。（規則15.10.4）

2 9人制改正点・修正点

- (1) 遅延行為に対する罰則に提示すべきカードについて、遅延警告は黄カードでハンドシグナルを示し、遅延反則は赤カードでハンドシグナルを示すことに改めた。(第24条第2項第6表)
- (2) 軽度の不法な行為に対する警告の処置について、再発を予防するため次のように改めた。
(第25条第1項)
- 第1段階 チームにゲームキャプテンを通じ口頭で警告する。
第2段階 競技参加者に黄カードを示し警告する。
- 競技参加者に対する警告は、公式記録用紙に記録し、その試合中有効とする。その試合中、同じ競技参加者が軽度の不法な行為を繰り返したときは、無作法な行為に該当するものとして罰則を適用する。
- (3) 罰則を適用する不法な行為に対し提示すべきカードについて、次のように改めた。
(第25条第2項)
- ①反則は、赤カードで示す。
②退場は、赤・黄カードを一緒に示す。
③失格は、赤・黄カードを別々に示す。
- (4) 不法な行為に対する罰則段階表に「軽度な不法な行為」を加え、提示すべきカードについて規定を整備した。(第25条第3項第7表)
- (5) 公式記録記入法の規定を整備した。(第1.2.④, 3(3), (5), (9)①)
- (6) その他字句を修正した。

3 ソフト・バレー改正点・修正点

【改正点】

競技参加者の不法な行為に対する罰則を段階表に基づいて明確な処置を行うようにすることで改正とした。(VI-1, -2)

【修正点】

(1) 競技者の服装

キャプテンマークが付いていないときは、腕章(アームバンド)に代えることができる。

(II-2-注解)

(2) 字句の修正を行った。

4 ビーチ・バレー改正点・修正点

【改正点】

(1) キャプテンについて

ボールがアウトオブプレーのとき、キャプテンだけが次の3つの場合は審判員への発言を許可される。(規則5.1.2)

競技規則の適用や解釈に関して説明を求める。

キャプテンは、主審の説明に納得できない場合は、プロテストを要求することを、直ちに主審に申し出なければならない。(規則5.1.2.1)

次のことに関する許可を求める：

- ①ユニフォームを着替えること。
- ②サーバーの番号を確認すること。
- ③ネット、ボール、コート表面などをチェックすること。
- ④ラインをまっすぐに直すこと。（規則5.1.2.2）

タイムアウトを要求する。（規則5.1.2.3）

(2) 相手チームのプレーに対する（主な）妨害について

- ・ボールをプレーする動作中に、ネットの上部の白帯、またはアンテナの上部80cmのどこかに触れること。
- ・ボールをプレーしながら同時にネットから支持を得ること。
- ・ネットに触れることにより相手チームに対するアドバンテージをつくり出すこと。
- ・相手チームによる正当なボールへのプレーの試みに対し、それを妨害する動作をすること。

（規則11.4.3）

(3) スクリーンについて

サービングチームの選手は、1人でスクリーンを形成し、サーバーおよびサービスボールのコースが相手チームに見えないように妨害をしてはならない。（規則12.5.1）

(4) 軽度の不法な行為について

軽度の不法な行為は、罰則の対象にはならない。主審には、チームが罰則レベルに達しないように防ぐ義務がある。

これは2段階で処置される。

ステージ1：ゲームキャプテンを通じて口頭での警告をする。

ステージ2：該当する選手にイエローカードを使用して警告をする。この警告はそれ自体が制裁ではないが、その試合においてそのチームメンバーが（さらにチームが）次からは罰則になることを示している。これは記録用紙に記録されるが、直ちに罰則を受けることはない。（規則20.1）

(5) 不法な行為等と使用するカードの一覧について

警告：罰則ではない — ステージ1：口頭での警告

ステージ2：イエローカードでの警告

ペナルティ：罰則 — レッドカード

退場：罰則 — イエローカードとレッドカード（一緒に示す）

失格：罰則 — イエローカードとレッドカード（別々に示す）（規則20.5）

《（第6図）不法な行為に対する罰則段階表》 参照

(6) アシスタントスコアラーについて

アシスタントスコアラーは、記録席で記録員の隣に座り、任務を遂行する。（規則25.1）

【修正点】

(1) 規則をより読み易くするため、単語訳や表記を見直し、字句を修正した。

(2) 主審と副審の公式ハンドシグナルおよび線審（ラインジャッジ）の公式フラッグシグナルのイラストを修正した。（第8図、第9図）